

3 歳児視聴覚健診導入と効率に関する考察

大木師磋生¹⁾，野本 秀一²⁾，少名子正彬²⁾，棚橋 雄平²⁾
阿部 正視²⁾，安達 功¹⁾，高石 秀峰²⁾，小倉 敬一³⁾
田川恵美子³⁾，福田 節子³⁾

要約：平成2年8月、3歳児健康診査に視聴覚健診が導入され、千葉県柏保健所では平成3年4月より柏地区医師会の協力を得て、平成3年10月までに健診を行い、視能訓練士並びに耳鼻科医の配置について考察し、3歳児健診の効率を検討した。

見出し語： 3歳児健診 耳鼻科医協力 視能訓練士 効率

【研究方法】

千葉県柏市保健所は、柏市、流山市、我孫子市、沼南町の三市一町の約60万人もの多くの人口を対象とする保健所であり、3歳児対象者も3,394名と多数である。私ども医師会は小児科医会、耳鼻科医会、眼科医会、保健所保健婦、歯科衛生士、栄養士等で3歳児健診を効率よく、かつ効果的に実施するかを課題に、平成3年より6ヶ月間の受診者2,784名の成績を得て検討した。

受診者は表1のように、2,784名(82.0%)で健診方法は表2の如く、一次健診には小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健婦、栄養士、事務職員ならびに二次健診を兼ねて耳鼻科医を配置した。また、眼科、耳鼻科では耳鼻科アンケート票を、保健婦が規定によりセレクトした対象者を、さら

に耳鼻科医がセレクトを行い、要二次健診対象者を一次健診会場で、同日に診察を行った。眼科健診については家庭で視力測定を実施しなかった者、視力測定を実施できなかった者、アンケートで眼科項目に問題のあった者について、視能訓練士が視力測定ならびにセレクトを実施し、耳鼻科では要精密健診者を三次医療機関に、眼科は二次健診に紹介するか、または精密健診受診券発行を行った。その発行数は耳鼻科では6名(三次)、眼科では二次健診に198名を紹介したが、二次健診を受診した者は、198名中95名(48.0%)であった。

表1 一次健診

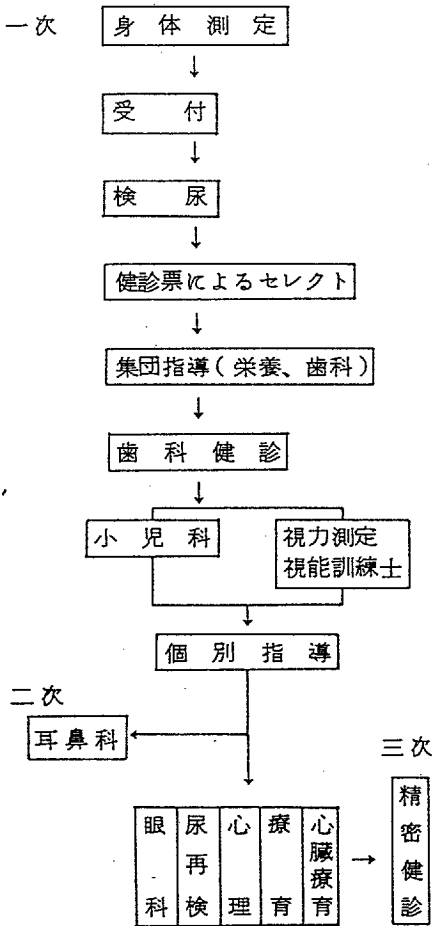
種別 年齢	対象者	受診者数	受診率
3歳児	3,394	2,784	82.0%

1) 日本保育園医協議会 2) 柏地区医師会 3) 柏保健所

表3 健診状況

	一次健診会場	二次健診	三次健診
眼科	視能訓練士 未測定者視力測定 アンケート問題セレクト	眼科診察	精密診察
耳鼻科	アンケート問題セレクト	耳鼻科診察	精密診察

表2 健診方法



健診の結果は表4のごとく、対象者数は3,394名で、受診数は2,784名(82.0%)であり、要二次健診数は眼科では、アンケートによるセレクト数は、1,002名(35.9%)であったが、視能訓練士による測定の結果により二次紹介数198名(7.1%)に、精健カード発行数は40枚となった。耳鼻科では要二次健診数は486名(17.4%)となったが、一次健診会場に耳鼻科医の出動が同時にあり、二次健診を直ちに受診することができたため、その受診数は461名(94.9%)と高率になると共に、精健カード(三次)発行数は6枚であった。

二次健診の診断確定は表5のようである。

【考察】

3歳児健康診査の視聴覚導入は平成3年10月児母衛通達第22号で実施することになったが、柏保健所管内の地域は柏市、我孫子市、流山市、沼南町の三市一町で、その対象人口は606,253人(平成3年4月)との多数であり、平成3年4月より10月までの6ヶ月間の対象数は3,394名である。私どもはこの対象数を如何に効率的にかつ効果的に実施するかを考慮し、小児科医会、

耳鼻医会、眼科医会医師ならびに保健所職員により数次に亘り研究を重ねた。

アンケートによるセレクトでは、表3の眼科セレクトにみられるように、1,002名(35.9%)と多数の二次受診者が生じ、時には二次医療機関の混乱の危惧もあると考えられた。しかし、眼科医の絶対数の不足から、学校健診の出動も考慮して、3歳児健康診査には視機能訓練士を配置し、実施することにしたが、これにより要二次健診者を1,002名から198名(7.8%)と大幅に削減することができた。その精度についても低下は考えられなかったが、精健カード発行は40枚と耳鼻科医による耳鼻科精健カード発行数よりも多

かった。また、耳鼻科医の一次健診会場の同時出動により、二次受診率は時間的關係等で帰宅した25名を除いて、94.9%、461名の多数が二次健診を受診し、精健カード発行数も6枚と少なかった。

3歳児健康診査視聴覚導入に際して、視機能訓練士の一次会場配置と、耳鼻科医の一次健診会場での、同時二次健診の実施によって、健診効率と精度が大きく向上することが確認され、また、要二次健診者も同日内の診断確定で、不安の早期解決に安堵感を得たようである。しかし、眼科二次健診は他日のために、受診率は48.0%と悪く今後の大きな課題であると考えた。

表 4 健 診 結 果

	一 次 健 診						二 次 健 診					
	対象数	受診数 (率)	異常なし	要二次健診数 (健診票による要二次数)	他機関 管理	精健カード 発行数	対象数	受診数 (率)	異常なし	経過 観察	診 断 確 定	精健カード 発 行 数
眼 科	3,394	2,784 (82.0)	2,515	198(1,002)	31	40	198	95 (48.0)	54	12	4	25
耳 鼻 科	3,394	2,784 (82.0)	2,263	486(486)	35	-	486	461 (94.0)	284	35	136	6

表 5 診 断 確 定 の 内 訳

眼科	診 断 名	二次健診時	精 健 票 (一次で発行)	精 健 票 (二次で発行)	耳鼻科	診 断 名	二次健診時	精健票
		弱 視		9		4		滲 出 性 中 耳 炎
	近 視 ・ 遠 視 ・ 乱 視	1	8	11		耳 垢	52	1
	斜 視		4			鼻 炎 ・ 咽 頭 炎 等	45	1
	そ の 他	3	3	1		中 耳 炎 等	20	
						そ の 他	7	
	計	4	24	16		計	136	4



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:平成2年8月、3歳児健康診査に視聴覚健診が導入され、千葉県柏保健所では平成3年4月より柏地区医師会の協力を得て、平成3年10月までに健診を行い、視能訓練士並びに耳鼻科医の配置について考察し、3歳児健診の効率を検討した。